



日刊動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043 (222) 7207 番

92.9.29 No. 3665

小牧(愛知)現地闘争つち抜く

弾効の下での中コソコソ出兵



隊員、家庭の官舎からし、手ぎまじりにデモにこたえる

日本とアジアの民衆の反対と激しい弾効の声を無視し、政府はついに自衛隊の出兵へと踏み込んだ。

一九九二年九月二三日は、戦後四七年にしてはじめての本格的な出兵という、断じて許せない、忘れられない日として刻印されなければならない。

だが、この日政府・防衛庁が狙っていた日の丸と大動員で熱烈に第一次先遣隊を送り出すという目論みは、われわれの激しい弾効と多くの反対の声に打ち砕かれ、コソコソと出兵せざるえないという“惨状”を呈した。

われわれは、この間の闘いを第一波として、アジアの民衆の激しい抗議にこたえ、何度でも小牧におしかけ闘いぬくものでなければならぬ。

九・二三闘争は、全国から七八〇名が結集し、地元愛知の仲間を先頭に力ずよい集会、デモががちとられた。動労千葉も、青年部を中心に集会、デモそして、小牧基地への申し入れ・弾効行動をやりきってきた。

右翼や革マルの敵対を完全に粉砕した力づよいデモに基地内から手をふる若き隊員もいる。基地内の官舎からは多くの家族がベランダから顔をだし真剣にわれわれの訴えに耳を傾けている。なかには、手をふり声援をおくっている家族もいる。われわれの、シユプレヒコトルにも一段と力が入る……。

このように、二三闘争は、新たな反戦、侵略阻止闘争の第一歩として断固ふみだした。総括集会で水野さんが決意をこめて、「何度でも小牧に結集し、出兵した隊員を引きもどし、中止させるまで闘おう」と訴え全体がそれを確認し終了した。

9.23小牧現地には、780名が結集。▲派兵阻止まで何度でも闘おうと誓った。

再びアジアに侵略の銃をむけるな

施設大隊本隊出兵阻止

10・13

現地全国総決起集会

小牧へ

- ★主催、反戦共同行動委員会
- ★とき、10月13日、午前7時
- ★ところ、如意申公園

10・1 小牧現地闘争

時・十月一日、二日、午前七時

所・如意申公園

主催、反戦共同行動委員会

